

# 地本業務ニュース

## JR 東海労・静岡地方本部

NO. 5 2020年 2月 7日 発行者：JR東海労静岡地方本部 半場弘恭

新型コロナウイルスを含め、インフルエンザ等の感染予防対策について「申第6号」窓口回答

### 対策はまだまだ不十分！

感染すれば本人家族の生活が成り立たない！

地本が、「申第6号 新型コロナウイルス等による感染症対策について」の申し入れをしていたことに対し、2月7日、会社から以下のとおり窓口回答がありました。

オープンカウンターに仕切りのアクリル板設置を！

車内つり革・座席・手すり・駅設備の除菌をすること！

①当分の間駅の窓口係員はマスクを着用すること。

回答：社員に対して、手洗い・うがい・咳・エチケットの励行等を行っており接客業務に当たる社員については、1月31日以降マスク着用を希望する場合には着用を認めることとしている。

②駅出札のオープンカウンターは旅客からの体液飛散防止のために旅客との間に仕切りのアクリル板を設置すること。

回答：現時点ではそのような考えはない。

営業社員に対して、手洗い・うがい・咳・エチケット等の励行等を指導し、営業中にマスク着用を認めている。

③駅窓口には除菌用スプレー等を設置すること。

回答：新型コロナウイルスの国内外の感染状況を踏まえ、お客様に安心して当社の鉄道をご利用いただけるよう、1月31日以降準備出来次第主要駅の改札有人改札ブース及び出札カウンターに手・指消毒用の消毒液を設置しており2月8日以降は全有人駅に設置する。

④車両留置箇所において車内の座席、手すり、吊り輪の除菌をすること。

回答：車両について、必要な清掃は定期的に行っている。

⑤駅カウンター、ドア等旅客が接する設備の除菌清掃をこまめに行うこと。

回答：必要な清掃は定期的に行っている。

## 感染した場合は賃金等の生活保障をすること！

組合：最近の報道では、重症化・死亡率では、恐れる必要はない様であるが、現状では感染者は隔離されており、大型客船ダイヤモンドプリンス号の集団感染では乗客・乗員（約3,500人）は上陸できず隔離状態である。鉄道会社の社員はもはや中国渡航者に限らず、不特定旅客による三次感染4次感染が考えられる状況にある。決してあってはならないが、社員が感染した場合、同様に隔離・就業制限で働くことができなくなり、本人・家族の生活が成り立たなくなる。その場合、賃金等生活を会社で補償すること。

回答：本社で対策本部を設置し対応指導していく。

以 上